



平成 29 年 4 月 17 日

各 位

会社名 富士通コンポーネント株式会社  
代表者名 代表取締役社長 石坂 宏一  
(コード番号 6719 東証第 2 部)  
問合せ先 取締役 倉本 雅晴  
(TEL. 03-3450-1601)

当社の親会社 富士通株式会社  
代表者名 代表取締役社長 田中 達也  
(コード番号 6702 東証、名証、各市場 1 部)

### 業績予想の修正及び営業外費用（為替差損）の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 10 月 14 日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

なお、平成 29 年 3 月期において、営業外費用（為替差損）が発生しましたので、あわせてお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

|                              | 売上高    | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に<br>帰属する<br>当期純利益 | 1 株当たり<br>当期純利益<br>(円 銭) |
|------------------------------|--------|------|------|-------------------------|--------------------------|
| 前回発表予想 (A)                   | 48,100 | 900  | 370  | 210                     | 16.17                    |
| 今回修正予想 (B)                   | 48,660 | 980  | 710  | 460                     | 35.42                    |
| 増減額 (B-A)                    | 560    | 80   | 340  | 250                     | —                        |
| 増減率 (%)                      | 1.2    | 8.9  | 91.9 | 119.0                   | —                        |
| (ご参考) 前期実績<br>(平成 28 年 3 月期) | 48,278 | 907  | 512  | 626                     | 78.67                    |

#### 2. 修正の理由

売上高につきましては、当社の主力製品であるリレー、タッチパネルが車載市場向けを中心に引き続き堅調に推移しており、前回予想値を上回る見込みです。営業利益につきましても、これらの主力製品の増産効果により前回予想値を上回る見込みです。経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、下記「3. 営業外費用について」に記載のとおり、通期で 261 百万円の為替差損を計上いたしますが、前回予想値は第 2 四半期連結累計期間（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）に発生した為替差損や円高リスクを織り込み業績予想値としておりましたが、為替差損の金額が当初想定していたよりも減少したことから、それぞれ前回予想値を上回る見込みです。

### 3. 営業外費用について

外国為替相場の変動により、平成29年3月期（平成28年4月1日～平成29年3月31日）において、261百万円の為替差損を計上いたします。これは主として、平成29年3月末時点で当社グループの保有する外貨建債権債務を同日の為替相場で評価したことに伴い発生したものであります。なお、第3四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年12月31日）において133百万円の為替差損を計上しており、第4四半期連結会計期間（平成29年1月1日～平成29年3月31日）における為替差損は128百万円となります。

以 上